

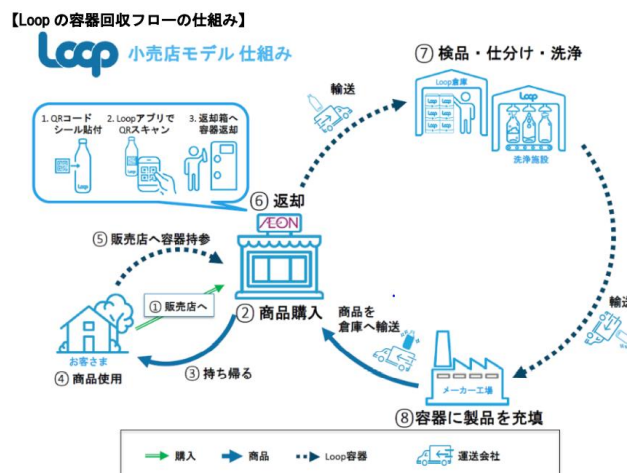
## 新たな「容器リユース」事業が広がっている

### ◆日本で本格始動する「容器リユース」事業Loop

家庭ごみの約5割を占めるプラスチックごみ削減の解決策の一つとして、民間企業が主導する食品や日用品分野での「容器リユース」事業が注目されている。

小売り大手のイオンは、2021年5月から東京近郊の19店舗で米ベンチャー企業テラサイクルが提供する循環型商品供給システムLoopによる商品販売を開始した。Loopは、使い捨てられる洗剤やシャンプーなどの日用品や食品の包装容器をガラスや金属製などの耐久性の高い容器に置き換えて、繰り返し利用することで、ごみを出さないライフスタイルの浸透を目指している。

世界では米国、フランス、英国、カナダの4カ国で展開しており、19年の事業開始以降、ユニリーバやP&G、ネスレなどの大手消費財・食品メーカーや、カルフルやテスコなどの大手小売りが提携し、200超のブランドで500以上の商品が販売されている。日本では21年3月時点でP&G、味の素、ロッテ、ユニ・チャームなどの24社がLoopへの参画を表明している。



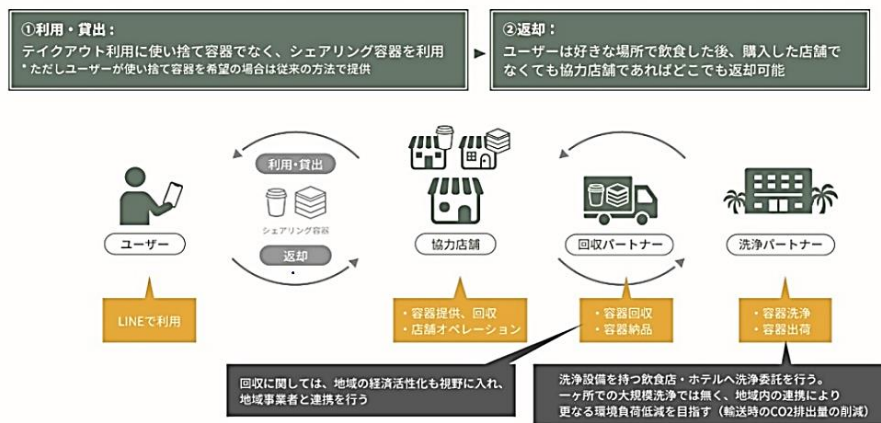
(出所)イオン イオンリテール ニュースリリース 2021年5月19日

イオンは、P&Gやロッテなどのメーカー6社と菓子や洗剤などの13品目で開始し、21年8月末までに関東の50店舗へ拡大する。商品は店舗やネットスーパーで購入可能で、使用済み容器は店頭で回収する。専用のスマホアプリをダウンロードして操作することで容器の代金が返却される。商品の販売価格は約900円～4,500円（税込み・容器代込み）で容器代の110円～880円が返却される。Loopが

容器の回収・洗浄などを行い、メーカーが工場では製品を再充填した商品が再び店頭並ぶ仕組みである。参画企業はLoopに手数料を支払う。

◆国内発の「容器リユース」事業も始まっている

国内でも資源循環型の「容器リユース」事業に取り組む企業が登場している。NISSHAとNECソリューションイノベータは、スターバックスコーヒーとテイクアウト容器のシェアリングサービスRe&Goの実証実験を開始している。Re&Goが容器を提携店舗に貸し出し、容器に添付されたQRコードで利用状況を管理する。利用状況の情報は、提携店舗・輸送・洗浄パートナー間で共有され、効率的な運用に活用される。一方、テイクアウトの利用者には、ゴミ削減によるCO<sub>2</sub>排出量を可視化した情報をスマホアプリで提供し、行動変容を促す仕組みになっている。



(出所) NISSHA NECソリューションイノベータ ニュースリリース 2020年11月24日

◆世界的に「容器リユース」事業が活発化している

「容器リユース」事業は世界的に広がっている。容器に電子タグ (RFID) を添付し、キャッシュレスで食品や日用品の量り売り販売をするチリのAlgramoやシンガポールの容器シェアリングサービスのmuuseといった新興企業が登場している。

「容器リユース」は牛乳瓶など昔からある仕組みであるが、新たな事業に共通するのは、容器の在り方を再考して、付加価値を生み出す工夫をしていることである。例えば、Loopは容器のデザイン性を高めることでマーケティングのブランディングツールとしての活用を目指している。Re&Goは容器をIT技術で管理することで利用状況のデータを業務の効率化や消費者の行動変容に活用している。

循環型社会の実現への取り組みが加速するなか、プラスチックごみの削減は喫緊の課題である。「容器リユース」の動向に引き続き注目したい。 【新井佳美】